

2022 年度 事業報告（各委員会活動報告）

1 総務委員会（委員長：堀口勝人）

- ①会長、副会長、各委員長、顧問で構成した総務委員会を毎月理事会の 1 週間前に招集(会議室及びオンライン会議)し、委員会等からの様々な提案事項を検討・審議し、その結果を理事会へ報告または上程した。また、各委員会間にまたがるような日本人会の運営上の課題や中長期の各種課題に対して議論を行い、必要に応じ継続的に審議するようにした。
- ②理事会議事録を作成し、理事会の検討事項・審議内容を正確に記録した。
- ③その他
 - ・2022 年 8 月：学校オーナー問題作業部会報告、アジア域内事務局長会議報告、
 - ・2022 年 9 月：慈善基金ローカル管財人追加一名の任命
 - ・2022 年 12 月：事務局長の契約更新（2024 年 3 月迄）、JSKL 学校施設利用に関する対応
 - ・2023 年 2 月：JCKL の許認可・ライセンスについて一覧表の更新
 - ・2023 年 3 月：職員の福利厚生規定の改定、日本人会の保険付保の確認、非常時対応マニュアルの確認、筑波大学からの協力依頼への対応

1-1 規約関係（担当：小沢史朗）

特になし

1-2 セカンドホーム関係（担当：柳井教男）

特になし

2 企画広報委員会（委員長：瀧澤征彦・中島裕美）

- ・2022 年 4 月：こどもの日ぬりえイベント：160 作品 132 名の参加があった。参加者には参加賞を、また委員長賞、特別賞（会員による投票）を選定した。
- ・2022 年 10 月：第 4 回秋の味覚を楽しむ会を 3 年ぶりに開催（参加者約 110 名）。家族連れから単身者まで幅広く参加頂いた。日本人会ならではの企画で、参加された方からは高評価をいただいた。
- ・2022 年 12 月：クリスマス会を 3 年ぶりに開催（来場者約 600 名）。当日は、帝京マレーシアの学生やボランティアの方々に大いなるご協力を頂き、参加した大勢の子供たちを楽しんでもらうことができた。

所感

どちらの企画とも 3 年ぶりの開催で集客など不安な部分もあったものの、活況な盛り上がりとなり、日本人会の広報としては有効な活動の一つであると思われる。いくつか改善すべき点を踏まえて、23 年度も継続して開催することを検討したい。

2-1 会員関係（担当：松尾義裕）

偶数月に開催している「新規入会者の集い」は、12 月を除き、5 回実施し、合計で 226 名（108 世帯）の参加があった。

2-2 ニュースレター編集委員会（編集長：柳井教男）

- ・毎月初旬にホームページへ掲載、E-mail にて会員へのお知らせを発信してきた。
- ・今年度の編集委員会は対面にて、2 か月に 1 回 ボランティア編集員を含む編集委員によるニュースレター編集会議を開催し、毎号の特集内容、その時期にあったコンテンツを検討、編集方針を決定した。この決定内容に従い、編集委員による取材活動、原稿の作成を実施。また寄稿については原稿の作成依頼を関係各所・諸氏に行い、編集・校正作業を実施した。

3 財務委員会（委員長：高松文生）

- ・定例理事会にて月次財務報告を行った。
- ・期末処理として、不良債権償却（RM122.30）、雑益計上（RM2,184.50）、退会者からの寄付金計上（RM1,129.44）を行った。
- ・2023年3月：2022年度（2023年3月31日終了）の決算は約413千リンギの現金収支プラス、但し減価償却費計上後の税引き後損益はマイナス54千リンギとなった。

所感

会員数はここ数年減少局面にあり、コロナの影響による急激な減少には歯止めがかかったものの、上昇に転ずるかは不透明。今後も会員数の動向に留意しつつ、コスト管理を徹底する必要有り。引き続き、現金収支ベースでの黒字確保に努めて参る。

4 クラブハウス委員会（委員長：平田順久）

- ・2022年6月：A棟（幼稚園）前にできたシンクホールの補修
- ・2022年12月：会館東側斜面点検を行い、斜面の状態に問題はないとの結果を確認
- ・2023年3月：会館ロビー側（C棟）の白蟻薬剤注入を実施。
日馬和里レストラン厨房内ガスパイプ交換。

4-1 クラブハウス将来計画小委員会（委員長：平田順久）

2022年5月：2022年3月31日終了事業年度の決算では、約411千リンギの現金収支プラスという結果となり、当小委員会内で2021年度の新会館建設積立金計上額を検討した結果、411千リンギを積立てることを理事会で決議し、2022年6月第58回年次総会で報告を行った。

5 店舗委員会（委員長：安部智晴）

- ・2022年7月：自動販売機の新業者と契約
- ・2023年1月：店舗懇談会の実施、自動販売機契約延長
- ・2023年3月：店舗契約更新（2023年4月～26年3月）

6 文化活動委員会（委員長：犬塚麻由香）

- ・2023年3月末現在、部活動：15、同好会活動：30 合計：45の部・同好会が活動。
発足2（ミュージックアンサンブル、和太鼓）
廃止4（詩吟、華道（池坊）、キーボードと脳トレ、ラテンソロサルサ）
- ・イベント申請2件
- ・2022年度日本語講座は、1学期4クラス開講、2学期3クラス開講
- ・日本料理教室3回、バティッククラス大人4回、子供2回実施
- ・2022年8月：JFKL第19回高校生日本語弁論大会（審査委員長）への協力
- ・2022年9月：マラヤ大学「日本人家庭訪問実施」への協力
- ・2023年3月：JFKL日本語スキットコンテストへの協力（審査員派遣）

所感

コロナ明けに伴い、人数を増やした部も複数あり、関心度合いによって活動の活発度が変わる通常運営に戻ってきた印象。

7 スポーツ活動委員会（委員長：小幡貴志）

- ・2023年3月末現在、部活動：11部、9同好会、合計：20部・同好会が活動。
廃止1（ガールスカウト部）

- ・2022 年 11 月：イベント申請：JSKL 施設利用 3 件
- ・2022 年 12 月：イベント申請：JSKL 施設利用 1 件
- ・2023 年 1 月：イベント申請：JSKL 施設利用 2 件

8 学校委員会（委員長：香取龍太・星合大）

1) 園児・児童・生徒数の推移

2022 年は 2020 年から断続的に継続してきたコロナ禍が年度初めにエンデミックへ移行したことから年度初めは前年を大きく割り込んだが、以降は園児・児童・生徒の減少に歯止めが掛かり、年度終わりに前年同月を上回るまでに回復した。

2022 年度 園児・児童・生徒数の推移

年 月	幼稚園	小学部	中学部	合 計
2021 年 4 月	45	415	94	554
2022 年 3 月	49	389	86	524
2022 年 4 月	38	346	89	473
2023 年 3 月	63	395	91	549

2) 学校教育目標と教育の重点

2022 年度は、2 年ぶりに全く休校措置のない正常な状態で教育活動を行うことができた。学校教育目標は、従来通り「たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた児童・生徒の育成」とし、その「めざす学校像」は「入ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかった JSKL」、「めざす子どもの姿」は「元気で最後まで取り組める子、誰にでもやさしく出来る子、夢を持って世界へはばたける子」、「めざす教師像」は「優れた授業で勝負する教師、子どものよさを育て共に成長する教師、常に努力を惜しまない教師」を掲げて教育活動を推進した。

3) 学校経営、「3 年ぶりの学校行事」、「5 年目の教育の重点 3 本柱」

2020 年度、2021 年度の約 2 年間は、コロナ禍に伴う感染拡大防止規制の影響で学校行事や対面での教育活動が大きく制限された。そうした中、今年度 2022 年度は 4 月当初から学校を開校し対面での教育活動を展開することができた。学校行事も 3 年ぶりに保護者が参観する形で開催することができた。全ての行事が 3 年ぶりの開催となり教職員にとっては十分な引き継ぎのない中での行事開催は大変な苦勞であったが、教職員の創意工夫と協力で全ての学校行事を成功裏に終えることができたことは大きな成果である。

2018 年度より教育の重点として取り組んでいる①ICT 教育の充実、②英語教育の充実、③心の教育の充実、の 3 本柱は 5 年目となる。①の ICT 教育の充実については、今年度から中学部において教育機器クロムブックの個人持ちをスタートさせた。中学部で活用していたクロムブックは小学部へと活用の範囲を広げることとなった。今後は小学部高学年の ICT 機器個人持ちへと順次拡大していく予定である。現在はほとんどの学年においてクロムブックや iPad などの ICT 機器が 1 人 1 台使える環境が整い、ICT 機器を活用した授業実践の充実を目指している状況である。②英語教育の充実では、今年度はコロナ禍で中断していた国際交流会を全学年で行うことができた。ローカル校との国際交流会では EC 授業で学んだ日頃の成果を発揮し英語を使って交流できたことで、英会話の重要性についても再確認できた。③心の教育の充実では、「ゆたかな心の育成」を目標に掲げ、道徳教育の充実や日々の工夫した教育実践を通して、互いに学び合い、高め合う学級集団になるよう継続的な指導を展開できた。

4) 2022 年度（令和 4 年度）予算・決算

コロナ禍の継続を予想して園児児童生徒数の更なる大幅減少を想定していたが、エンデミックへの移行に伴い年度初めより底打ちの兆しが見え始め、また想定外の最低賃金大幅上昇（5 月）による物価高等も勘案して 9 月に補正予算を策定して運営した。

① 学校一般会計（小中学部）

年間平均児童生徒数を 463 名（前年比 94%）と前年から微減へ補正し、単年度予算収入は 7,819 千円、同支出は 7,698 千円とした。収入実績は概ね予算通りで、予算比 100%、前年比 96%で着地した。一方で支出実績は、電気代、水道代の想定外の高騰で光熱給水費が上昇したが、最低賃金改定や物価高の影響等は補正予算に織り込んだことから最終的には予算比 94%、前年比 95%となり、収支は 562 千円の黒字で着地した。

② 学校一般会計（幼稚部）

幼稚部でも年間平均園児数を 55 名（前年比 122%）と園児数回復傾向を織り込み、単年度予算収入は 1,213 千円、同支出は 1,118 千円とし、収支は 95 千円とした。収入実績は予算をやや上回り（予算比 102%、前年比 115%）、支出実績は園児数回復に見合った教員数の確保に時間を要したこと等から固定費を中心に予算を下回り（予算比 81%、前年比 67%）、結果として収支は 337 千円の黒字となった。

③ 学校維持会計

学校維持会計は、学校施設に付随する各種設備等の調達・保守・維持を扱っている。収入は園児・児童・生徒数の減少傾向に歯止めが掛かり、予算に対し 98%で着地した。支出は、予定していたエアコンの据え付けや IT 関連機器の調達が遅れたこと等から予算消化が少々遅れており、予算比 76%で着地した。遅れている各種工事は次年度 1 学期に挽回の予定。

④ 新校舎会計

新校舎会計は、学校の校舎、施設等の固定資産管理と、現スパン校舎建設から 50 年後（2042 年）の校舎建替えの為に資金積み立てを目的として運営している。現在は 2021 年末より開始した校舎改修工事プロジェクトの資金管理を司っている。今年度の資金収入は予算を上回る一方で、支出は校舎改修工事が急速に進捗したことで予算消化速度が加速した。（預金残高：実績 29,311 千円、前年差 8,109 千円減）

所感

2022 年は経営環境がコロナ禍から平常時へ戻る大きな転換点となった。一方で、最低賃金の大幅改定等に伴う人件費や物価の急騰は予断を許さない水準にある。園児・児童・生徒数は、今後は緩やかに回復が見込まれるが、特に幼稚部は園児数に見合った教員確保が緊急課題となっている。

また、学校運営体制の整備については、学校オーナー問題を中心に学校経営の建付けの改革を進めてきた。併行してコンプライアンス、法務の専門家と業務委託契約を締結して支援を受けられる体制を整え、抜本的な強化を図ってきた。次年度も理事会として積極的に関与していきたい。

9 教育施設管理委員会（委員長：佐藤興文・渋谷高史）

・2022 年 12 月：帝京マレーシアと日本人会の覚書更新。2018 年 1 月より会館の使用に関する 1 年間の覚書を締結しており、来年度分について同社と覚書を取り交わした。

10 福利厚生委員会（委員長：小野澤麻衣）

・はぐみ会・出産準備教室・・・新型コロナにより 20、21 年度は開催が不可能であったところ、22 年度よ

- り、ボランティアの協力も得て、それぞれ 7 月、9 月から活動を再開。はぐくみ会は計 13 回、76 名の参加、出産準備教室は計 2 回、12 名の参加があり、出産・育児に関する情報交換、体験の場となった。
- ・予約制オンライン無料健康相談・・・21 年 1 月から月 1 回の頻度で、バトよしみ医師にボランティアで実施して頂いている。22 年度も継続して頂き、計 39 名の利用があった。
 - ・オンラインヘルストーク・・・22 年 10 月、目黒外科医院による下肢静脈瘤に関するオンラインヘルストークを開催。20 年 9 月の開催に続く第 2 回目。約 20 名の参加があり、コロナ禍での健康維持や健康寿命などについて説明された。

所感：

- ・はぐくみ会、出産準備教室については、活動に協力頂いているボランティアの皆様には感謝申し上げたい。引き続き、新型コロナの感染対策などに留意しながら活動を継続していきたい。
- ・オンライン無料健康相談については、長らくボランティアで実施頂いているバトよしみ医師にあらためて心から感謝申し上げたい。依然として感染が続く新型コロナを含め健康、医療に関する不安材料は多く、医師に相談できる機会は非常に貴重。次年度については、医師によるボランティアでの協力可能性を確認しながら進めたい。
- ・オンラインヘルストークについては、ニーズのあるテーマ設定の下で、開催形式などに留意しながら実施をしていきたい。

11 日本人墓地維持管理委員会（委員長：万代利夫）

- ・2022 年 9 月 11 日：秋季慰霊祭：広島県呉市、浄土寺住職、念譽和尚の先導により実施。
- ・2022 年 12 月 MUFG マレーシア銀行の墓地口座の閉鎖
- ・2023 年 3 月 5 日：春季慰霊祭：広島県呉市、浄土寺副住職、良輝和尚（念譽和尚のご子息）の先導により実施。
- ・墓地管理人契約の更新 3 回。①2022 年 9 月～12 月末、②2023 年 1 月～3 月末、③2023 年 4 月～9 月末
- ・Public Bank 墓地口座残高（2023 年 3 月 31 日時点）RM50,703.84

【日本からの墓地訪問者】

2022 年 7 月 20 日：岩本防衛政務官の墓地訪問
2022 年 7 月 25 日：島津法務副大臣の墓地訪問
2022 年 10 月 9 日：林外務大臣の日本人墓地訪問
2023 年 2 月 13 日：自衛官（統合高級課程）の墓地参拝
2023 年 3 月 15 日：武井外務副大臣の墓地参拝

12 IT システム委員会（委員長：柳井教男）

- ・2022 年 6 月に 3 回目となるデータ移行テストを行った。テストを継続中。

13 盆踊り実行委員会（2022）（委員長：星合大）

2022 年 7 月 16 日（土）19:00 より Kompleks Sukan Negara Shah Alam にて、第 46 回盆踊り大会を開催。コロナウィルスによる規制で、過去 2 年実施できていなかったことから、3 年ぶりの開催となった。来場者数推定 5 万人超。大きな事故などなく成功裏に終了した。例年に倣い、安全状況の整理、警備会社を起用して警備強化、安全対策を行った。

14 バザー実行委員会（2022）（委員長：小沢史朗）

婦人部かとれあ会創立 50 周年。2022 年 11 月 6 日（日）10 時 30 分～15 時、第 50 回チャリティバザーを Eastin Hotel にて開催した。
当日は来場者約 1,000 名（関係者ボランティア含む）

バザー当日売上げ収益と皆様からの現金ご寄付から次年度の会計監査費と税務申告費の積立金等を除いて、約 RM84,000 を 11 ヶ所の福祉施設に寄付する提案を、JCKL 慈善基金に対し行った。

15 新年会実行委員会（2023）（委員長：飯塚隆史）

2023 年 1 月 7 日に第 28 回新年会を会館にて開催、約 800 名程度の参加者があり、事故・怪我無く、無事終了した。コロナ関連のイベント実施規制はなくなったものの、規模を縮小し、会館内及び飲食の 4 テントを会館外側に設置して実施した。新春福引（会員様先着 500 名限定）を行い、テナントクーポン及び商品を配布、おおむね好評であった。第 1 ホールのステージでは、ライオンダンス、セレモニー、JCKL 園児及び部同好会の発表が行われた。子供たちの楽しめるコーナーとして、ヨーヨー釣りと射的を実施。

16 海外安全関係（担当：山田元一郎）

新型コロナウイルス感染症対策に関して、

- ・マレーシア政府による活動制限の緩和、及び 2022 年 8 月 1 日以降の入国制限の緩和等について
 - ・日本入国時の水際措置、及び 2023 年 4 月 29 日以降の水際措置見直しについて
- それぞれ情報提供を行った。

17 婦人部（担当：星合大）

■ 地元への社会貢献 ■

(1) 定期的なボランティア訪問支援活動

下記①と②の施設にてボランティア活動を行った。

① ブキナナス身障者施設（Asrama Cahaya Rumah Wanita Cacat, Jalan Bukit Nanas）

- ・ 9 月 KL 日本人会会館にてブキナナスボランティアチャリティバザーを開催し、ブキナナス身障者施設入居者が 製作した手芸品の販売をお手伝いした。
- ・ 11 月 第 50 回 KL 日本人会チャリティバザー2022 に参加、ブキナナス身障者施設ブースの販売係としてお手 伝い。
- ・ 12 月 ブキナナス身障者施設へクリスマスプレゼントお渡し。

② PJ スパスティックセンター音楽セラピー（Spastic Children Association of Selangor & W.P）

- ・ 4 月～12 月 コロナのためオンラインにて活動。
- ・ 11 月 第 50 回 KL 日本人会チャリティバザー2022 に参加、PJ スパスティックセンターブースの販売係としてお手 伝い。
- ・ 2023 年 1 月～2 月 施設訪問許可により、施設にて子ども達と音楽に合わせた運動。

福祉施設①と②ボランティアグループ連絡係とかとれあ会役員との連絡会を 6 月と 2 月に開催した。

(2) 慈善活動・行事関連

① 寄付先福祉施設との交流

- ・ 10 月と 11 月 2021 年度の寄付先福祉施設 6 箇所へ訪問。
- ・ 3 月 オンラインにて寄付先福祉施設 2 箇所へバーチャル訪問。

② チャリティバザー関連

- ・ 6 月～12 月 バザー活動の一環として、バザーサポーター／手芸品製作チームの皆さんと連携して活動。
- ・ 9 月～11 月 チャリティバザー開催に向けて準備と協賛品・手芸品の値付け作業、販売品納品手続き、バザー実行委員会に出席、かとれあ KIOSK を開催。
- ・ 11 月 6 日(日) Eastin Hotel にて第 50 回 KL 日本人会チャリティバザー2022 を開催。
チャリティバザー活動収益金（法人会員からの寄付金を含）：RM109,440.79
- ・ 4 月 25 日(火) バザー収益金ドネーション贈呈式を行い、マレーシアの 11 福祉施設に総額 RM84,000 を寄付。

■ 日本人会関係イベント ■

以下の日本人会開催イベントに協力

- (1) 1 月 KL 日本人会新年会に当日のお手伝いとして参加
- (2) 3 と 9 月 春と秋の慰霊祭にお手伝いとして参加
- (3) 7 月 盆踊り大会に当日のお手伝いとして参加
- (4) 日本人会新規入会者集いにスピーカーとして参加（かとれあ会活動の紹介-）

■ 日本人学校 PTA との交流 ■

かとれあ会役員、バザーサポーター、PTA 役員の選出に際し、連携。

所感

2021～2022 年度の婦人部会担当理事として、マレーシアの福祉施設訪問、チャリティバザーの実施、地元の福祉施設でのボランティア活動などを始めとしたかとれあ会役員、バザーサポーター、福祉施設ボランティアの皆さんの素晴らしい活動を拝見し、感銘を受けると共にかとれあ会の皆さんの各自の姿勢、使命感には大変驚愕し、感謝しております。

ドネーション贈呈式での福祉施設の方々からの感謝の言葉と嬉しそうな笑顔を見て、かとれあ会の社会貢献活動は欠かせない活動であると感じました。

そして改めて 50 年の長きに渡りチャリティバザー活動を持続してきた尊さを思い、日本人会に於けるかとれあ会は福祉のみならず日馬友好へ大きく貢献しているのだという思いを強く致しました。

これからも、会員の皆様が気楽に参加して喜んで頂けるような企画運営を通じて、社会福祉と日馬友好に貢献し続けて頂きたいと思います。

18 全マレーシア日本人会 （担当：堀口勝人）

第 43 回目のマレーシア全日本人会連絡会が、2022 年 10 月 7 日（金）ペナン領事館にて開催された。（ペナン日本人会が幹事）12 か所の日本人会のうち、今回は 8 か所の代表が参加した。

また、同時に大使館主催で第 41 回安全対策協議会が開催され、外務省海外安全ホームページから、感染危険情報、危険情報について、及びマレーシアの安全情報が共有された。

以上

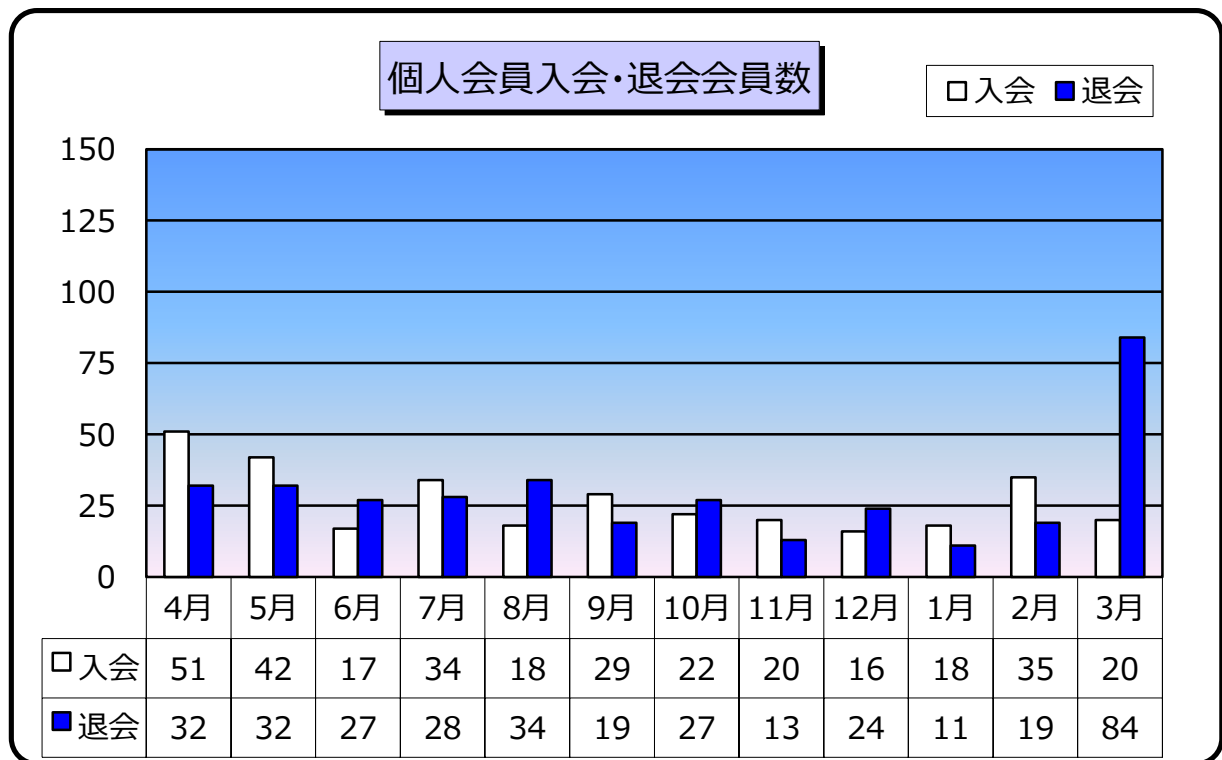
K L 日本人会会員数推移

2022 年度

(2022年4月～2023年3月)

	入会会員数				退会会員数				会員数				
	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	内 MM2H	賛助	学生
									281	1284 / 2917	204 / 371	272 / 519	6
4月	0	51	6	0	0	32	2	0	281	1303 / 2991	205 / 373	276 / 529	6
5月	0	42	1	4	1	32	1	0	280	1313 / 3029	206 / 376	276 / 529	10
6月	0	17	6	1	1	27	2	0	279	1303 / 3026	204 / 371	280 / 538	11
7月	1	34	2	2	1	28	4	0	279	1309 / 3004	204 / 366	278 / 530	13
8月	0	18	4	0	0	34	1	0	279	1293 / 3031	197 / 351	281 / 538	13
9月	1	29	8	3	0	19	4	1	280	1303 / 3070	196 / 349	285 / 542	15
10月	0	22	11	0	0	27	1	0	280	1298 / 3080	192 / 341	295 / 574	15
11月	0	20	0	0	0	13	3	1	280	1305 / 3098	192 / 339	292 / 570	14
12月	0	16	1	2	2	24	3	0	278	1297 / 3101	192 / 337	290 / 567	16
1月	0	18	3	0	1	11	4	0	277	1304 / 3126	194 / 340	289 / 570	16
2月	2	35	8	1	1	19	3	1	278	1320 / 3168	196 / 348	294 / 580	16
3月	0	20	0	0	2	84	1	0	276	1256 / 2992	194 / 342	293 / 579	16
合計	4	322	50	13	9	350	29	3	※ ※				

※ 会員数／総数(含家族会員数)



KL日本人会会員推移グラフ

(年/会員タイプ別)

